



AudioComm®
AM/FM
デジタルクロックラジオ

RAD-F3357M-K (07-9723)
RAD-F3357M-W (07-9724)

保証書付 取扱説明書

AudioComm
AM/FM デジタルクロックラジオを
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため、
ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
必ず保管してください。

仕様

電源	AC100V 50/60Hz DC6V 単2形乾電池×4本(別売)
受信周波数	AM 522~1638kHz (9kHzステップ) FM 76~108MHz (100kHzステップ)
時計精度	月差±1~60秒
乾電池での連続使用時間の目安	AMラジオ: 約18時間 FMラジオ: 約18時間 (アルカリ乾電池使用、音量中程度で使用時)
入力端子	φ3.5mm 外部音声入力ジャック
外形寸法	幅180×高さ132×奥行71mm (キャリーハンドル収納時、突起物含まず)
質量	約600g(乾電池含まず)

※外観、仕様は予告なく変更する事があります。

株式会社 オーム電機

〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ
●通話料無料 ●郵券・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735
電話 平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00
受付 日曜・祝日及び年末年始は休みです

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
電話 048-992-3970 平日 9:00~17:00
受付 土・日・祝日及び年末年始は休みです

07-9723A

安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による人身事故につながる可能性があります。ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

- 注意** 「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気のあたる所には置かない。故障の原因となります。
 - 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に置かない。故障及び火災の原因となります。
 - 電池はプラス(+)とマイナス(-)の表示通りに入れる。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
 - 指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。種類の異なる電池(例:アルカリとマンガン)と一緒に使用しない。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
 - 長期間ご使用にならないときは、電池を取り出す。電池の液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
 - 音量を上げすぎない。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 警告** 「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- 乾電池は、充電しない。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
 - コンセントで使用する際は、指定以外の電源、電圧、プラグの極性で使用しない。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
 - コンセントで使用中に雷が鳴り出したら、電源コードのプラグに触れない。落雷による感電などの原因となります。
 - 屋外使用中に雷が鳴り出したら、すぐに使用を中止する。落雷の原因となります。
 - 電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張り、重いものを載せたりしない。感電、ショート、火災の原因となります。
 - 本機を分解、改造しない。感電、ショート、火災、けがの原因となります。

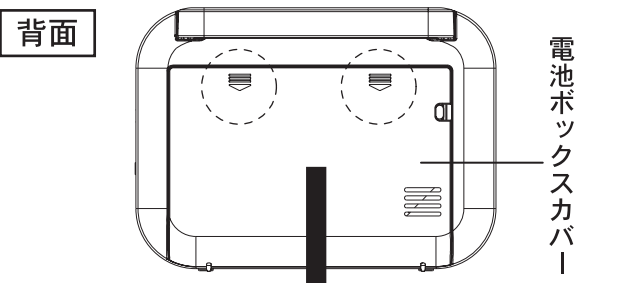
無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、増害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
(ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
(ホ)本書のご提示がない場合
(ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
- 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
(チ)一般家庭以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご購入、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼にならない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

電源について (AC/DC2電源方式)

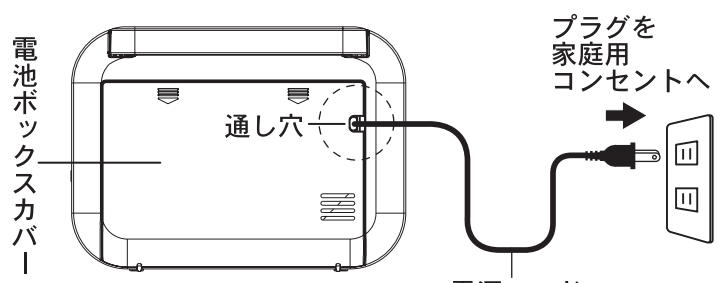
1. 乾電池の入れ方



- 本体背面の電池ボックスカバーを、左右2箇所の矢印部分を押しながら、下にスライドさせて開きます(上図参照)。
- 電池ボックスに、単2形乾電池4本(別売)を入れます。電池ボックス内に表示されているプラス(+)、マイナス(-)の極性通りに正しく入れてください。
- 電池ボックスカバーを①と逆の手順で閉めると、装着完了です。

※ご使用時に音が小さくなったり歪む場合は、電池が消耗していますので新しい電池に交換してください。
※本機にはアルカリ乾電池のご使用をお薦めします。マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります。
※本機を長期間ご使用にならないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取り出してください。
※電池交換の時には電源コードを家庭用コンセントに差し込んだ状態で行ってください。(時刻設定などが消え、再設定が必要になります。)

2. 家庭用コンセントへの接続



- 本体背面の電池ボックスカバーを開きます。(「1.乾電池の入れ方」項目①を参照)。
- 電池ボックス内に収納されている電源コードを出して、電源コードの通し穴に通しながら、電池ボックスカバーを閉めます(上図参照)。
- 電源コードのプラグを家庭用コンセントへ根元まで確実に差し込みます。

※家庭用コンセントに接続すると、電源が自動的にAC電源に切り替わります。
乾電池でご使用になりたいときは、電源コードのプラグを家庭用コンセントから抜いてください。
※プラグを抜き際は、プラグ本体を持って行ってください。コードを持って抜きますと断線する場合があります。
※家庭用コンセントでご使用の場合は、液晶表示は常時点灯となりますが、乾電池でご使用の場合は省エネ回路のため、ボタン操作しないと10秒以内で消灯します。

注意 「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気のあたる所には置かない。故障の原因となります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に置かない。故障及び火災の原因となります。
- 電池はプラス(+)とマイナス(-)の表示通りに入れる。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- 指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。種類の異なる電池(例:アルカリとマンガン)と一緒に使用しない。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- 長期間ご使用にならないときは、電池を取り出す。電池の液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
- 音量を上げすぎない。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ラジオ本体のお手入れの仕方

柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を少し含ませてお拭きください。シンナー・ベンジン・アルコールは、本体をいためる可能性がありますので使用しないでください。

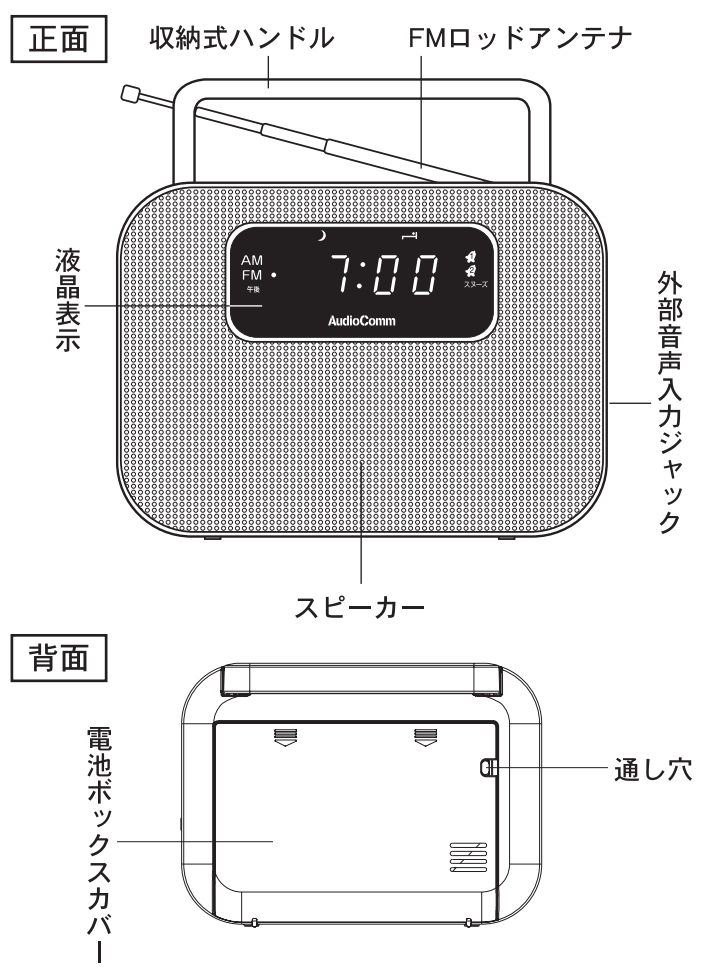
故障かな?と思ったら 下表を参考に点検してください。

現象	点検方法
音が出ない	●音量が最小になっていないか確認。 ●乾電池の残量を確認(残量がない場合は電池を交換)。
雑音が入る	●携帯電話、テレビ、蛍光灯の近くで使用していないことを確認。

Memo

.....
.....
.....
.....
.....
.....

各部の名称



時刻、アラーム、スリープなどについて

- 時刻の設定**
- 電源オフ時に「⑥ 時刻/手動メモリー設定」ボタンを数秒長押しすると、液晶表示内の時刻表示が点滅します。
 - 「⑦ 時/前」ボタンを押すごとに「時」の数字が増えるので、現在時刻の「時」になったら押すのを止めます。同様に「⑧ 分/次」ボタンを押していき、現在時刻の「分」になったら押すのを止め、現在時刻を入力します。
 - 「⑥ 時刻設定/手動メモリー」ボタンを押して時刻設定の完了です。時刻表示が点滅から点灯になります。(時刻は12時間表示で、午後のみ「午後」に●が点灯)
- 「アラーム1」の使い方**
- 電源オフ時に「③ 音量(大)/アラーム1」ボタンを数秒長押しすると液晶表示に時間表示が点滅します。
 - 「時刻の設定・項目②」の手順でアラーム時刻を入力します。
 - 「③ 音量(大)/アラーム1」ボタンを押し、すぐに「⑦ 時/前」「⑧ 分/次」各ボタンで、アラーム音を選択します。(アラーム音は、「bb(ブザー)」か「F(ラジオ)」の2種類) 「③ 音量(大)/アラーム1」ボタンを押してアラーム設定完了です。(「アラーム1」アイコンに●点灯)
 - 設定時刻にアラーム音が鳴ります。
 - アラームを止めるときは「① 電源/機能切換」ボタンを押します。

※アラーム音でラジオを選択した場合、最後に聴いた放送局およびその時の音量がアラーム音となります。アラーム音に向かない小音量の設定でないことを、よくご確認のうえご使用ください。
※アラームを設定すると毎日同時刻にアラーム音が鳴ります。
※「アラーム1」を解除するには、電源オフ時に「③ 音量(大)/アラーム1」ボタンを押します(液晶表示の「アラーム1」アイコンの●が消灯)。

- 「アラーム2」の使い方**
- 電源オフ時に「② 音量(小)/アラーム2」ボタンを数秒長押しすると液晶表示に時間表示が点滅します。
 - あとは「アラーム1」の使い方・項目②～⑤と同じ手順でご使用になれます。
- ※「アラーム2」を解除するには、電源オフ時に「② 音量(小)/アラーム1」ボタンを押します(液晶表示の「アラーム2」アイコンの●が消灯)。

- 「スヌーズ」の使い方**
- アラーム音を止めるとき「⑤ 照度調節/スヌーズ」ボタンを押すと、止まってから約9分後に再びアラーム音が鳴ります。「スヌーズ」と「アラーム1」または「2」アイコンの●点滅
 - スヌーズ解除には「① 電源/機能切換」ボタンを押します。「スヌーズ」のみ●消灯
- 「スリープタイマー」の使い方**
- ラジオ使用時に「④ タイマー」ボタンを押すと、押すごとに120→90→60→30→15→10→05(分)→OFFの順番でスリープ時間を選べます。「スリープ」アイコン●点灯
 - 選んだ時間後にラジオが自動的に電源オフとなります。
 - スリープを解除するには、「④ タイマー」ボタンを押していき「OFF」を選びます。「スリープ」アイコン●消灯

ラジオの使い方

ラジオの液晶表示例

AM/FM表示: AM, FM, 午前, 午後
周波数表示: 80.0
スヌーズ表示: スヌーズ

- 「① 電源/機能切換」ボタンを押すと電源が入り、押すごとに、FM→AM→AU(外部音声入力)の順に切り換わりますので、お聴きになるAM、FMどちらかを選択します。(液晶表示で、選択した側に●が点灯)
- 「⑦ 時/前」または「⑧ 分/次」ボタンを押してお聴きになりたい放送局を選局します。この時「⑦」「⑧」の各ボタンを数秒長押しすると、自動選局となり電波の強い放送局を自動検知して止まります。※自動検知できない放送局は、手動で選局してください。※自動選局中は、音量は自動的に消音になります。
- 「② 音量(小)/アラーム2」または「③ 音量(大)/アラーム1」ボタンを押してお好みの音量に調節します。(液晶表示で、音量が最小00→最大15まで表示されます)
- ラジオの電源を切るときは、「① 電源/機能切換」ボタンを2秒ほど長押しします。(液晶表示は時刻表示になります)

■AM放送の受信について
本体を放送が一番良く受信できる方向に向けてください。

■FM放送の受信について
「スヌーズ」のみ●消灯

プリセットメモリーの使い方

「P01」の液晶表示

■手動選局してメモリーする場合

- 「ラジオの使い方・項目①～②」の手順で登録したい放送局を選局します。
- 「⑥ 時刻設定/手動メモリー」ボタンを押すと液晶表示にP01が点滅します。点滅中に「⑦ 時/前」または「⑧ 分/次」ボタンを押して、設定する番号(P01～P10)を点滅させます。
- 再度「⑥ 時刻設定/手動メモリー」ボタンを押すと、設定した番号でメモリー完了です。
- 同じ手順で、AM/FM各10局までメモリーが可能です。

■メモリー/自動選局機能を利用する場合

- 「ラジオの使い方・項目①」の手順でAMかFMを選択します。
- 「⑨ メモリー/自動選局」ボタンを数秒長押しすると、電波の強い放送局を自動でメモリーします(AM/FM各10局)。

※メモリー/自動選局機能を利用すると、以前のプリセットメモリーは全て上書き消去されますのでご注意ください。

■プリセットメモリーした局の聴き方

- 「ラジオの使い方・項目①」の手順でAMかFMを選択します。
- 「⑨ メモリー/自動選局」ボタンを押すごとに、液晶表示にメモリー番号が表示され選局されますので、お聴きになる番号を選んでお聴きください。

※本機はモノラル音声です。ステレオ音声ではありません。
※本機はTV放送の音声は受信できません。

保証書 持込修理

商品名	AM/FM デジタルクロックラジオ	★お買い上げ日: 年 月 日
型番(品番)	RAD-F3357M-K (07-9723) RAD-F3357M-W (07-9724)	保証期間: 本体1年間 (お買い上げの日から)
お客様	★お名前	様
	★ご住所 〒	—
	電話 ()	
修理メモ		
★住所 店名 電話		
販売店		

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ
●通話料無料 ●郵券・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735
電話 平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00
受付 日曜・祝日及び年末年始は休みです

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
電話 048-992-3970 平日 9:00~17:00
受付 土・日・祝日及び年末年始は休みです

07-9723B